

## 27年10月分 製品市場の荷動き・価格先行き動向調査

1. 調査実施期間 平成27年 10月1日～ 27年10月10日

## 2. 調査実施方法

全国の製品市場に対し、アンケート調査票を送受することにより実施した。  
10月分の回答企業数は6社である。

## 3. 判断指数の算出方法

各調査項目について以下の方法でウェイト・ディフュージョン・インデックスを算出した。

Weight.D.I.(ウェイト・ディフュージョン・インデックス)={(「増加」の評価を行った回答の割合)×2+(「やや増加」の評価を行った回答の割合)-(「減少」の評価を行った回答の割合)×2-(「やや減少」の評価を行った回答の割合)}÷2  
したがって、この割合がゼロの場合はその増加と減少が等しいことを示し、プラスになるほど増加が多く、逆にマイナスになるほど減少が多いことを示す。

## 4. 調査結果の概要

## (1) 荷動き動向 Weight. D. I.

品目		27/10月	11月	12月
入荷動向	国産材製材品	0.0	0.0	8.3
	外材製材品	△ 8.3	0.0	0.0
	その他	0.0	0.0	0.0
販売動向	国産材製材品	25.0	33.3	8.3
	外材製材品	25.0	16.7	8.3
	その他	25.0	25.0	12.5
在庫動向	国産材製材品	0.0	0.0	8.3
	外材製材品	△ 16.7	0.0	0.0
	その他	0.0	0.0	0.0

・国産材の入荷は10月、11月の横ばいが12月はやや増加。外材は10月の減少が、11月、12月は横ばい。その他は3ヵ月連続して横ばい。

・販売は全品目で3ヵ月連続して増加。

・在庫は外材が10月に減少するのを除いて、他は3ヵ月連続してほぼ横ばい。

## (2) 価格動向 Weight. D. I.

品目		27/10月	11月	12月
スギ	柱角 KD10.5×3	8.3	8.3	0.0
	柱角 KD12×3	0.0	0.0	0.0
	通し柱 12×6	0.0	0.0	0.0
	桁角	0.0	8.3	0.0
	母屋角	0.0	8.3	0.0
	タルキ	8.3	0.0	0.0
	間柱	8.3	8.3	8.3
	加工板	0.0	0.0	0.0
	ヌキ	0.0	0.0	0.0
	平割	0.0	0.0	0.0
ヒノキ	柱角 KD10.5×3	8.3	16.7	0.0
	柱角 KD12×3	8.3	16.7	0.0
	土台角 10.5×4	16.7	25.0	8.3
	土台角 12×4	16.7	16.7	0.0
	通し柱 12×6	0.0	10.0	0.0
カラマツ土台角10.5×4	0.0	0.0	0.0	
米マツ平角	8.3	△ 8.3	△ 8.3	
米マツ割物	16.7	8.3	8.3	
北洋エゾマツタルキ	0.0	0.0	0.0	
北洋アカマツタルキ	△ 10.0	0.0	0.0	

・スギ製材品の価格は柱角KD10.5×3、間柱がやや強含みである他は、総じて保合。

・ヒノキ土台角は10月、11月が強含みだが、12月は総じて保合。

・カラマツ土台角は3ヵ月連続して横ばい。

・米マツ平角は10月のやや強保合が、11月、12月はやや弱保合。割物は強含みないし強保合。

・北洋エゾマツタルキは3ヵ月連続して横ばい。北洋アカマツタルキは10月の弱含みが、11月、12月は横ばい。

## モニターからのコメント

(荷動き)

- ・入荷順調、WWの入荷にばらつきあり。記念市があり、国産材、外材ともに動きあり。在庫は10月の記念市が終了し、国産材、外材共に減少（関東）。
- ・入荷は、全般的に増加傾向。販売も上向き。在庫を増やしている模様（中部）。
- ・販売不振、秋需が少しはあり？（中部）。
- ・雨の影響か、ヒノキの入荷が少ない。アカマツ4m、35角の良材が減少（関西）。

(価格動向)

- ・スギ柱角 (KD10.5cm、12.0cm) 60,000円/m<sup>3</sup>、スギ桁角 (東北グリーン材) 40,000円/m<sup>3</sup>、母屋角 (東北材) 40,000円/m<sup>3</sup>、スギタルキ (東北材) 45,000円/m<sup>3</sup>、スギ間柱 (KD) 63,000円/m<sup>3</sup>、スギ加工板 (グリーン材) 東2,800円、(KD) 東4,000円、スギヌキ (東北) 38,000円/m<sup>3</sup>、(秋田) 48,000円/m<sup>3</sup>、スギ平割 (プレーナー) 45,000円/m<sup>3</sup>、同 (ラフ) 40,000/m<sup>3</sup>、ヒノキ柱角・土台角 (KD) 85,000円/m<sup>3</sup>、米マツ平角KD65,000円/m<sup>3</sup>、米マツ割物AD65,000円/m<sup>3</sup>、北洋アカマツタルキ アッセンブル単価 (S) 68,000円/m<sup>3</sup>、(P) 58,000円/m<sup>3</sup> バンドル単価 (S) 65,000円/m<sup>3</sup>、(P) 55,000円/m<sup>3</sup> (関東)。
- ・スギ、ヒノキ共に、価格を上げられる程需要は強くない。新築、増改築共に件数が春夏に比べ微増に過ぎず、価格を上げる程ではない。米マツ関係は若干の価格上げを伴う。北洋エゾ、アカマツタルキは現状維持 (中部)。
- ・柱以外は、外材、特にWW入荷減でスギは全体に引き合い増加。ただし、名古屋地区はスギ使用が極端に少なく、他地域ほどの引き合いはない。ヒノキ土台のみ品薄により若干単価上昇。柱や通し柱に関してはEWやスギ、外材など選択肢が多く、ヒノキに品薄感は見られない (中部)。
- ・ヒノキ原木の単価上昇により、GR土台が若干値を上げている (九州)。